

# 二・未来クラブ

2003年2月発行

## 明日の富士見市を創る政策提言



開発が進むふじみ野駅周辺

## 地域力を高めるために

我が国の経済の先行きは不透明感が漂つております。今後も社会・経済状況は厳しさが増してくると予想されます。行政においても国、県だけでなく地方自治体までその影響は及んでおります。そのような中、各自治体では独自の施策や事業を開発し、自治体間競争を生き抜こうとしています。

富士見市においても第4次基本構想を基に着実にまちづくりは進んでおり、昨年は常設型の市民投票条例が可決され、今後は独自のまちづくり条例の制定に積極的に取組みます。

このことは、市民参画や地域に関りのある人・企業が行政と力を合わせ、共にまちづくりを進め行くことにつながるものと高く評価をしていました。それには情報の提供と共に有化が大切と認識すると共に地域の資源（物的・人的）を見いだし、活用して行く策が求められ、地域力を増強することが重要と思います。

21・未来クラブは市民が主役のまちづくりを今後も推進して参ります。

2市2町の合併協議会に於いて昨年3月、合併を是とする方向性が、全会一致で確認されました。その後、基本項目小委員会、他5委員会が設置され、事務の詳細についてすり合わせが行われています。1月16日に開かれた合併協議会では、主要項目である事務所の位置と合併の期日が提案され、三芳町役場を本庁に、16年10月1日を合併の期日とすることが、全会一致で決定しました。今後新市名等も決まっていくものと思われます。

昨年8月に実施された住民意識調査の自由回答一覧を見ると、①議員、職員定数の削減、②総合病院等の誘致、③合併のメリット、デメリットの情報が少ない、などの意見が多く寄せられています。

①について、現在の2市2町の議員定数は、91名ですが、合併後の法定定数は38名になり、議席数は今後削減される見込みです。職員の削減については、西東京市で10年間で218名を予定しており、当協議会でも、今後検討していきます。

②の総合病院等の誘致は、合併後検討されるものと思います。

③については、1月16日の合併協議会で、都市計画税の税率を0.2%から0.2%に引き下げる事が確定し、約1億8000万円の減税となります。また、水道料金、下水道料金も低い方で調整することになります。市民には大きなメリットになります。

また、現在2市2町で進めている火葬場・斎場建設も、ひとつの中核自治体であれば、もっと早い時期に整備することが可能だったと思います。

私たち21・未来クラブは、2市2町の将来を見据え、今後も積極的に努力して参ります。

環境

環境

## お知らせ

21・未来クラブはホームページを開設しています。  
アクセスをお待ちしています。  
ご意見・ご希望をお寄せください。

5月中旬に市民との懇談会を予定しています。

詳細については会派議員又はHPにお問い合わせを!!  
URL  
<http://www.geocities.WallStreet-Stock/4784/>

に消費する社会経済活動は、自然の再生能力や浄化能力を超えるような規模となり、地球の温暖化、オゾン層の破壊、海洋汚染、野生生物の減少、廃棄物の問題等、生活基盤である地球環境を脅かすまでに至っています。

富士見市では、環境基本条例が制定され、また、緑地保全基金を設立し、緑地の保全を進めています。ゴミの減量化を推進しています。また、家電リサイクル法が実施され、小売店・メーカー・消費者各自の役割分担が明確化され循環型経済社会の構築に向けて重要な役割を担うことになりました。

そのような中、心ない人の不法投棄が今後の課題でもあります。私達市民一人ひとりが将来を見据え、便利さを優先させるだけでなく、健全で恵み豊かな環境を維持しつつ環境への負荷の少ない生活をすることを深く認識し、自然と調和した循環型社会の構築を目指していくしかありません。

私たち21・未来クラブは環境提言を積極的に行い、市民の皆様と共に環境の保全に努めてまいりたいと思います。

# 提言・ふじみ教育改革プラン

②教育委員会組織を学校教育に特化する体制づくり

③教育に対する全市民的理解と協力（意識づくり）

「特色ある学校づくりと豊かな教育をめざす」当市の教育行政方針を尊重しつつ、危うい状況にある教育現場を充実するために、4つの柱からなる学校教育改革プランを提言致します。教育は日本の百年を左右する大事な制度です。地方自治体は先端行政であり、その教育を担つているという誇りと責任を持つて、直接多くの子供達の教育を預る行政として改革と新たな価値観に基づく制度の導入をすべきで、国・県の指導支援を借りながらも、独自性をもつたものにすることが必要だと考えます。

## ●ふじみ教育改革プラン

「21世紀に健やかに、たくましく生きる、ふじみの子供たちを育てる為に…」

### 1 魅力ある学校づくり

①学校長の責任と権限強化

②教育活動予算の拡充（自由裁量）

③学校評価と情報公開

④学校自由選択制の導入

⑤二学期制の導入

⑥基礎学力の充実

⑦特色ある、そして魅力ある学校づくりの展開

### 2 魅力ある先生づくり

①教職員の評価制度

②研修、研究と相談のサポート体制

③市による教職員の独自採用（専門性、社会性重視）

### 3 学校を支援する魅力ある地域づくり

①学校評議員制度の充実

②学校支援ボランティア制度（スポーツ、生活・しつけ、総合学習支援）

③地域との積極的交流と和づくり

ふじみの子は富士見市で育てる

ふじみの子は富士見市で育てる

市長自ら積極的に教育行政に関わり、市長部局と教育委員会の連携強化を

## 事務事業評価の効果的運用による行財政改革推進を！

以上、学校教育に対する提言ですが、家庭における教育は更に重要であり、子供の成長過程における親子の関係はとても大切です。まずは家庭から家族としてのあり方にも思いをめぐらす時であると感じます。教育の根元は家庭からであると。  
21・未来クラブでは、まちづくりの根幹は人づくりであり、それを支えるのは教育であると考へています。

21・未来クラブでは、まちづくりの根幹は人づくりであり、それを支えるのは教育であると考へています。

●山形県東置賜郡高畠町  
平成14年7月17日（水）  
高畠町では、平成12年度から地域住民の主体性を計りながら社会教育の場から町長部局と教育委員会との連携、調整のもとにまちづくりを生涯教育の基本として運営を開始している。

特に、公民館運営には公募による職員を各館2名配置し、住民の主体性が發揮されるよう運営委員会が設置され、地域に密着した公民館運営を目指している。

●宮城県仙台市  
平成14年7月18日（木）

仙台市では、平成13年度より行政評価システム導入に着手。行政評価通信の発行を通じて職員の理解を深める努力がなされている。

以上、行政視察研修を通じて学んだものを活用しながら、21・未来クラブが目指している「市民主役のまちづくり」を今後も積極的に進めていきます。

## 21・未来クラブ 行政視察報告

●宮城県仙台市  
平成14年7月18日（木）  
●「生涯学習と公民館運営」について  
●内発型産業振興、「花巻市起業化支援センター」について  
●「行政評価システム」について

# 21・未来クラブ ～燃える政策集団～



細田英夫  
建設環境常任委員  
行財政改革特別委員

西みずほ台1-27-3  
TEL 252-5320  
FAX 254-1672  
S25. 3.29  
モトー…ふれあい…  
まちづくり



星野信吾  
21・未来クラブ副代表  
文教福祉常任副委員長  
合併調査特別委員

鶴馬2-21-30  
TEL 251-2386  
FAX 255-3000  
S30. 4.1  
モトー…真実…路



柳田政男  
21・未来クラブ代表  
総務常任委員長  
環境特別委員長

羽沢3-2-6  
TEL 251-0474  
FAX 254-9856  
S23.11.20  
モトー…至誠…貢



星野光弘  
総務常任委員  
合併調査特別委員

閑沢2-13-12  
TEL 251-0737  
FAX 252-4651  
S32. 8.1  
モトー…夢をかたちに…  
今ここから私たちの手で…



吉野欽三  
建設環境常任委員  
環境特別委員

東大久保85  
TEL 251-6565  
FAX 251-6568  
S31.10.19  
モトー…行動…実行…実現…  
笑顔があふれる都市づくり



関野兼太郎  
文教福祉常任委員長  
行財政改革特別副委員長

水谷東1-2-10  
TEL 255-0506  
FAX 255-0549  
S25.12.25  
モトー…「心ふれあう安心…  
のまちづくり」をめざします。  
<http://www.k-sekino.com>  
e-mail  
kanetaro@nifty.com



花巻市役所にて

とする「ベンチャー企業」を育成・支援をしている